

お 知 ら せ

① ハムの共同購入について

発色剤など無添加ハム類の共同購入を毎月始に出会い塾いたやどセンターにて行っています。メーカーは信州ハム(株)です。ウイナー・ベーコンなどもあります。詳しくは出会い塾までお問い合わせください。

② よく切れるナイフをお持ちですか？

11月1日に肥後守ナイフの研(とぎ)実演と即売を三木肥後守協同組合の親方の協力で行います。場所は神戸市立青少年会館工作室(三宮駅南すぐ)。時間は10時より3時まで。

なお、これは兵庫県自然教室の10周年記念行事「ぼくらがつかんだ自然フェスティバル」に協力して行われます。ナイフ関係以外にも安全食品に関する展示・即売、小代っ子自然教室の発表展示も行います。ぜひご来場ください。

③ 出会い塾のコピー・印刷(おやつ)

「通信」購読会員の特典として、コピー・印刷を割引します。

コピー	20円
(100枚以上)	15円
印刷	1割引
200枚	1,170円
500枚	1,710円
1,000枚	3,420円

④ 8人程度でしたら

出会い塾いたやどセンターの和室をお貸しします。ご利用の案内を用意しています。ご希望の方はご連絡を。

⑤ 自習室もご利用を!

対象 小学生からおとなまで  
日時 毎週<火・木> 午後6~7時  
場所 出会い塾いたやどセンター  
費用 月額 2,000円

「出会い塾からの通信」購読会員 募集

<月刊> / 部 200円(送料70円)

次号は11月20日にく12月号>を発行し、以後 毎月20日に発行します。

4か月以上前納の方には送料込みで250円に割引させていただきます。

[例] 4か月前納 1,000円  
8か月前納 2,000円  
1年分前納 3,000円

\* 申込時に何月号からか明示ください。

\* 送金は郵便振替をご利用ください。

口座番号 神戸1-6513

みみずく (編集後記)



☆ ひさびさに「通信」を発行しました。今号と次号とで調子をつけ、来年1月号より第1号、と銘打ち、再出版します。「通信」の読後感をお寄せください。

ページをうってないのでどこに何がのっているのかわかりにくい>だろうと思います。次号でくふうします。

毎月10日を原稿のメ切日とするとともに、その日を読者のみなさんの意見をきく編集会にしたいと思います。場所は出会い塾いたやどセンターで時間は「こよみ」にしめています。どうぞお気軽におこしください。お茶とお菓子を用意してお待ちしています。(や)

出会い塾からの通信

81.10・11月合併号



発行日1981年10月5日 / 編集・発行 出会い塾(代表:山田利行) / 〒654神戸市須磨区福松町4-4 (078)731-5341 / 振替 神戸1-6513 / 200円(送料70円)

事務用

10月



1(木) ハム共同購入の日 日出5:53 日没17:44

5(月) 「通信」10・11月合併号 発行

⑩(土祝日) 野外科学教室-森林植物園-

11(日) [10日が雨になれば、この日野外科学教室]

22(木) まないたの会 第19回例会

24(土) もぐらたんけんたい 休み

⑫(日) 小代研究会 第1回例会

29(木) まないたの会 第20回例会

11月



①(日) 小代っ子自然教室 第3回例会  
ちびくろ保育園でバザー  
肥後守ナイフの研ぎ実演と即売

2(月) ハム共同購入の日

③(火祝日) 野外科学教室-高取山-

7(土) 健康とくすりを考えるつどい 第4回

10(火) 「通信」12月号 原稿メ切・編集会18~20日

20(金) 「通信」12月号 発行

30(月) 日出6:47 日没16:48



ンフルエンサの集団接種反対の声明を、「薬害・医療被害情報センター」が発表しました。

9月12日(土)、神戸市婦人会館で第3回健康とくすりを考えるつどいが開かれ、この集会において「有効性も確かではなく、集団接種による流行抑制効果も実証されていないので、集団接種による強制はやめるよう」求めた申し入れを兵庫県・神戸市に、厚生省には「おこなうつもりなのかどうか」を質問した申し入れを送付、同時に市民向けの声明を発表しました。

薬害・医療被害情報センター (078)577-2064

〒652 神戸市兵庫区湊町4-1-8 サンマリナみなと1階

※同会らが発行している『おたより』137号に、県・市・厚生省への申し入れ内容が報告されています。お問い合わせは上記まで。

第4回 健康とくすりを考えるつどい (21日) 11月7日(土) 13:15~16:30 (21日) 神戸市婦人会館ホール(兵庫神戸北2分) 講師・宮田雄祐医師(大阪市大医学部講師) 『子供の病気を上手な医者へのかかり方』 300円

くすり

21日

11日

3日

3日

Deaizyuku-Dori  
こうさてん

須磨図書館

出会い塾のすぐ近くに図書館ができました。出会い塾の分室のつもりでどんどん利用するつもりです。

開館時間 10時~18時

休館日 月曜日・国民の祝日

年末年始 毎月20日  
はく書(4月中に約2週間)

※休館日がかさばったら翌日も

神戸市須磨区中島町1-2-3 (078) 735-7444

まないたの会 第19回例会 10月22日(木) 5:30~9:00 p.m.  
かまぼこをつくりまします。  
かまぼこを利用して、さんぽう・うめぞうめんもつくってまします。  
玄米を食べまします。 会費 1,000円  
兵庫勤労市民センター料理室 (非営利1,100円)

申し込み 田中伸尚(078)733-6184

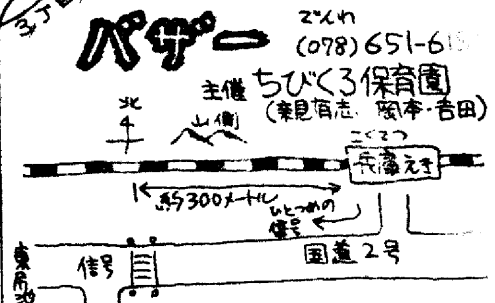
まないたの会 第20回例会 10月29日(木) 6:00~8:00 p.m.  
総会 何とか1年たちました。もっと活動しやすい場に、そして多くのきかけをつくっていけるようなグループにしたいものです。これからのことを話しあいましょう。できるだけ多くの人にあつまってほしい。会員外の人にも大歓迎です。添加物グループの発表もします。 会費 250円  
兵庫勤労市民センター第1会議室 (非営利350円)

こんなこともしています 食べることから  
有機野菜をつからずのお料理試食会 (かぶま中心に)  
有機農業による農産物を広める会  
連絡先 (078)752-8510

はじめに 《食品添加物》の知識を手軽に知るのに便利なパンフレットがあります。

1. 食物の安全
2. 食糧はどこから 「食品添加物のはなし」
3. 加工食品と手作り食品のちがいは 著・里見 宏 発行・全国健康協同組合連合会 B5版(週刊誌大)216ページ 目次は左の通りです。
4. 加工食品と食品添加物
5. どうしてこんなことが起こるのか 「将来は全面的にこれ[食品添加物]を廃止する方向に目指すべき」と言い切っています。
6. 食品と食品添加物
7. 食品添加物の種類と目的
8. お勧めできない食品添加物
9. リンの過剰摂取で骨折か
10. 食品添加物から 身を守るための原則

出会い塾が扱っています。  
1部 30円 (〒70円)  
5部 150円 (〒240円)  
10部 300円 (〒350円)



0月0日(日) 10~14  
不用品を10/19~27までに、保育園にもってきください。

合成洗剤(せっけんは歓迎)、味の素などの化学調味料はとり扱いません。

軽食  
ぜんざい すし  
ゼリー おにぎり  
アイスクリーム 餃子

「出会い塾からの通信」10-11月合併号 '81.10.5

## レポート もぐら・たんけんたい

神戸市須磨区高倉台団地に20人ほどの子供のグループがあります。もう一度遊びの仲間つくりをしようと試みる「もぐら」の子らです。放課後、本来あるべき子供の集団づくりの実践です。活動は毎週土曜日ごご2時から日没まで。

7月12日

二学期はじめての集りは17人の子供たちが元気な顔を見せてくれました。さなえ・ゆきえ・さほ・あゆこ・まいこと、女の子は5人。男の子たちは、山田・かねだ・しだ・ノビタ・かめのその・きょうじ・たかひろ・おぎの・みのる・にしはら・こみや・こうへいの12人でした。私が「海へ行かへんか」と問いかければみんな賛成。かねだ君だけがイヤヤナーなどとぶつぶついいながらういてくる。2時5分出発。あまり待つと悪い習慣がつくと思い、思い切って出発する。中学校のあたりであゆちゃんとマイッチ(まいこ)が追いついて走ってきた。とちゅう<sup>\*</sup>タイムトンネルで遊ぶのかと思いきや、意外と通過。2時40分、須磨海岸に到着。

### テンコ子を焼く

いつもの通り、私などのまわりにもつわりつきは少ない。チリチリバラバラ。みのるをはじめ山田君らが「ハエエナのごとく」というほどドウモ

\* タイムトンネル = 「もぐら」の遊ぶ(墓地)のひとつ。道路の下をくぐる土管。山の中にある谷川の水を流すためがあるが、雨だん水がない。

ウゴはないが) つり人の収穫物をねだりにいっている。さなえちゃんとさほちゃんは2人で砂ほり。かめのその君も砂ほり(1人で)。ゆきえちゃん・マイッチ・あゆちゃんの3人群団はねらっていたように見あつめ。やがてハエエナがかえって来、収穫物は「テンコ子」。けっこう数があるのでたき火をして食べようということになった。

### 服のままザブン

もやすものなど海にはどこにでもある。集めてまわり、さあ火をつけようかとなるとナンノナンノ、ちょっとしかないではないか。井上君(この日から加わったリーダー)がもっと集めろと指令を発す。みのるは両手はもちろんのこと、両足の親指と人さし指の間にも木をはさみ、おどけて歩いている。そんなことをしている真際中にノビタが、ボク泳イテクルと言いつつ残して服のままザブンと海にとびこんだ。そして大急ぎでひっかえしてきた。冷タイ! 服がヌレテシモター。

### 「家で食べるよりもおいしい」

あつめた木に火がついて小さなたき火ができる。とみんなが寄ってきた。石を熱く焼いてその上にサカナをおこうということになった。「サカナ焼き器」は成ゆのうちにあわった。かねだ君は「家で食べるよりもおいしい」と。

あまりにサカナがおいしかったので、ハエエナ

はみんなにひろがった。つり人の中には仲間だで「子供にやるなよ」と防衛するようにもなっているのであります。

\*

私に都合があったので、きょうは5時に帰ろうやとみんなに言ったのですが、しだ君は「ぼくらでよう帰るからやあ(私のことをやあと呼ぶ)帰ってもええぞ」といつてくれる。うれしいけれど2学期のはじめでもあるし、あまり思い切ったことはひかえようと思い、みんなをひっぱってかえることにした。

### きょうじがいはい

須磨駅を山側に出たところで人数をかぞえたら1人たりない。きょうじがいはい。海の方へもう一度見渡したがいない。海岸で帰る準備をしたときに確かに17人いたから海にはまったと思えないけれど、シンパイになってしまった。いつちならぶざけあたり、三三五五に話し合ったりしなから楽しく帰るのだけれど、足取りがきょうは速くなる。にしはら君よ、先に行って見てきてくれんか、歩道橋のトコでまるとい。にしはら君はびっくりするほどすなおに足速で先の曲がりくねった道から姿を消した。

とうとう最後まで追いつかず、きょうじは悪び

たかっこうで家の前にへたっていた。おこられ  
ると思ってがキョウフが先に立ったのが、ゴメン  
の言葉もでなかった。「前見たらだれもあらへん  
かったから追いつこうと思ひ一所懸命にあるいた  
という。こういうことは小さい子どもにときどき  
あること。注意しなくてはと自戒する。

明かるい日は暮れかかっていた。

(山田 利行)

短報 もぐらたんけんたい

9月19日＝雨ふり。雨ふりだからといってす  
ぐに中止とはいかない。カサをさしてみんな  
で相談ということになる。カサをさしてこの  
日、18人もあつまった。そして、中止！  
ところがしつこいシタ君やタカシがオモシロ  
ナイフを連発しているうちに雨があがった。  
さあ大変。みんなで手わけして人集め。3時  
前、ふたたび12人が集まり須磨海岸へ出発。  
海についたらタカシら5人ほどはタムづく  
り、コミヤ君ら5人ほどはハエエナ、女群団  
は貝あつめ。30分ばかり遊んでいるとそれ  
までモパウついていた雨が強くふりだした。

4時半ごろ、しかたなくバスで帰る。(ヤ)

9月26日＝又1人、たくさん集まった。つり  
道具を用意している連中もいる。ゼツタイ海  
やでェー。行く先、遊ぶところはみんなが相

談して決めることになっているが、一発決定。こ  
の日はタイムトンネルに立ち寄った。一目散に海  
へ行きたいのかと思ったら、そうでもないのだから  
おもしろい。

タチウオの子だるうが、長い魚をアミですくい  
あげたり、ちいさなフグをつったり、ふうせんみ  
たいにふくらんだフグを見てわらったり、貝あつ  
めもタムづくりもほどほどにこの日はサカナデー  
だった。ところがまた雨。それもすごく強くふっ  
てき、寒くもなった。4時、退却。(ヤ)

＜読んでください＞

もぐら、の子らをモデルにして海岸で遊ぶ  
子供について書きました。

雑誌名 『月刊 との子ども伸びる』10月号

論文名 { 海を子どもたちの遊び場に }  
山田 利行

発行所 部落問題研究所出版部

1部 400円(送料50円)

申込みは 出会い塾(078)731-5341まで  
(書店でも注文すればとりよせてくれます)

※なぎさ線に遊ぶ子供たちがどのように遊び  
を発展させていくのか。いかに海は子供た  
ちに大切なものを訴えています。幼児か  
ら小学低学年によくあてはまります。

# すさのセンター

所在地: 神戸市兵庫区須佐野通1丁目-7 (078)671-1442

出会い塾の下町基地であるすさのセンターは今  
その運営にこまっている。メンバーが7~8人と  
少ないこともあるが、何よりも目的を具体化する  
手がかりがつかめないでいる。

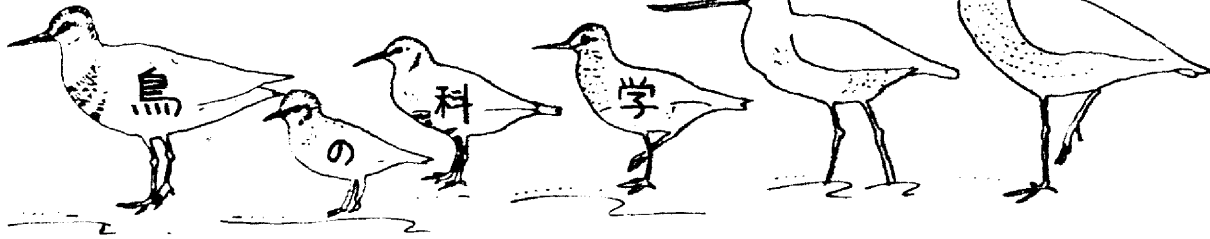
いろいろにいわれるが、しかしやはりすさのセ  
ンター周辺の子らは「遊べる子ら」であると思う。  
たんにからだの動きばかりでなく、言葉もやさし  
い。スマートではなく、ドロくさい。それゆえに  
合理性からはほどとあい。この子供たちにとって  
は歓迎すべき条件を、これから将来どうやって守  
っていかばよいのだろうか。

＜遊べる子供の動態博物館＞とでもいうような  
ことを考えてみた。遊びとは何か、を論じるよ  
うも優先して遊ぶのであり、現に遊べる子供たちと  
その環境を確保しておくということだ。

\*

すさのセンターのレポートは次回にさせていた  
だきます。ご意見・手伝いの援助・資金カンパ・  
すさのセンターの見学など大歓迎です。所在地は  
上記の通りですが連絡は(078)731-5341 出  
会い塾本部までお願いします。(ヤ)

干潟にあつまる シギ・チドリ E5



よ〜く観察してみてください。

例会報告〈野外科学教室〉浜甲子園

巻第 10人

9月13日、はれ。

顔をよくみる

小さい体で北から南へ

北国からあたたかい南の国

歩きやえさのとり方をよく見る

へ冬をこしに渡ってゆくちゅうの鳥たちの姿をソット遠くから観察しました。



ヨウヨウ型・チドリに似る

た。甲子園浜の干潟(ひがた)には春4月と秋9月上旬から10月下旬にかけて多くのシギやチドリたちが立ち寄ります。国も特別鳥獣保護区と指定しここを守っています。ところがこの近くは甲子園団地のすぐ近くなものですが、子供たち・家族連れ・釣り人の楽しみの場所でもあるわけです。それはとても良いことなのですが、私たちが観察している目の前でこころないゴカイ取りのオッサンが干潟に入りこみ、鳥たちをオビエサせてしまいました。ネコのひたいほどのせまい場所ですから少しでも安心してエサとしているカニやゴカイなどを食べさせてやりたかったと思います。そして元気にふたたび南の国へ旅立ってほしいものです。

ところがこの浜甲子園も海の埋立てがすすんでいます。地元で埋立て反対の訴訟にとりくんでいる東山直美さんもかけつけてくださり、浜の大切さを親切に説明してくださいました。わたしたちも埋立てに反対です。鳥の安住の地と住民のいこいの場を失わせたくないのです。

見た鳥たち 16種

- チュウシャクシギ
- コチドリ
- キアシシギ
- シロチドリ
- トビ
- タカアシギ(?)
- ウミアイサ
- ウミネコ
- オオソリハシシギ
- トウネン
- ユリカモメ
- スズメ
- シボツガラス
- ドバト
- イカルチドリ
- ダイゼン

(1/4)

10月の野外科学教室

10月10日(土・祝日) 雨のとき11日(日)

目的地 森林植物園 (078)591-0253

テーマ: 目・鼻・口・耳・手の順序で"自然をからだで"感じよう  
(初心者のための自然観察)

案内: 山田 利行

集合・三宮、そごう東側の森林植物園ゆきバス停

9時30分 (遅れた人はあとのバスで)

解散・同じ所で16時ごろ

持ち物: ペンとう・すいとう・雨具・タオル  
えんぴつ

バスは約50分あります。よいやうい人はよりどめま。

服装: スカート・ハイヒールなどハイキングに不適なものはダメ。

交通費 大人 620 小 320 入園料 大人 100 小 50 参加費 大人 500 小 300 合計 大人 1,220 小 670

連絡・問い合わせは (078)731-5341 出会い塾まで。

11月の野外科学教室

11月3日(火・祝日) 小雨決行

目的地 高取山

テーマ: 鳥の科学(第3回) 冬鳥の観察

案内: 井上 昌博

集合・山陽電車 板宿駅 山側改札口前

9時

解散・同じ所で15時半ごろ

持ち物: ペンとう・すいとう・雨具・タオル・えんぴつ  
あれば 図鑑・双眼鏡など

服装: かなり急な坂道もありますので、しっかりしたクツと動きやすい長ソテのシャツがお勧めです。

[交通費(市バス) 大人 130 参加費 大人 500 小 300] 合計 大人 630円 小 390円

朝、寒いときはセーターを1枚余分に持って来て下さい。

連絡・問い合わせは (078)731-5341 出会い塾まで



# 代表 山田利行氏

## 自ら考え行動する場を演出する 「出合い塾」

「出合い塾」という名前をつけたのは、そんな深い意味はありません。ただ、いい言葉だから。」

今、「出合い塾」は神戸の下町・板宿の一角にセンターがある。新聞の切り抜き、本、パンフレット何かと出合い塾の素材が並ぶ。

「出合い塾の目的は、自ら考え、伝え、実行する力を養う」ということになっている。前々となぜ言うかという自分でも考え行動する人があまりに少ないから」だとい

現在は情報化時代。情報としての今の状況は、マスコミを通じてもインプットされる。だが、それだけでは現実もこれでもかこれでもかというほど我々に突きつけられてきた。食品公害、水俣、環境破壊など、もうイヤというくらいに。でも、それで「なんとかなさなきゃ」と行動する人は少ない。多くの人は事実を突きつけられても、よう直視しない。考えること「やんか」「いちいちいうてたら食べるもんなくなる」ということであきらめてしま

に入っていることで安心もしてしまっている面がある。自分自身では「反対」してないのに、団体が「〇〇反対」を掲げているから自分も反対しているかのように思ってしまう。

出合い塾の対象は、赤ん坊からお年寄りまで。山田さん自身が住んでいた神戸・高倉台団地で子どもたちを集め、遊ぶ集団「モリス探検隊」を作ったのが始まりだ。

塾と書いても、いかにあもてよく遊ぶか、健康に生き生きと生活するか、自分の個性を見つけて発展させるかを学び、実践するところ。現在もうひとつの子ども集団「すさのセンター」も、安全な材料で安全な遊び場

作る学生・〇しを主軸、そして男性も加わる。また、自分自身では「反対」してないのに、団体が「〇〇反対」を掲げているから自分も反対しているかのように思ってしまう。

「出合い塾」の目的は、自ら考え、伝え、実行する力を養う」ということになっている。前々となぜ言うかという自分でも考え行動する人があまりに少ないから」だとい

現在は情報化時代。情報としての今の状況は、マスコミを通じてもインプットされる。だが、それだけでは現実もこれでもかこれでもかというほど我々に突きつけられてきた。食品公害、水俣、環境破壊など、もうイヤというくらいに。でも、それで「なんとかなさなきゃ」と行動する人は少ない。多くの人は事実を突きつけられても、よう直視しない。考えること「やんか」「いちいちいうてたら食べるもんなくなる」ということであきらめてしま

## あふれる情報、多い評論家 だが、行動する人はごく少数

での自分を見つけていく場を作ってほしい」と、大きな理想を述べると語る。

「これは地元の人で地元を見直すきっかけにもなる。昨年僕らが呼びかけた合成洗剤施設が突如、今年商工連が撤去を始めた。と予算を組んでがんばっている。」

「これからは山田さんがやりたいと思っているのは、お年寄りの知識、力を引き出すこと。たとえばお年寄りにお手玉を大量に作ってもらい、「遊び」のきくなつた環境を、おじやみを放り込む運動」を起そうと考えている。

出合い塾のテーマは尽きない。「今最も反響が少ないのが、お年寄りの若者たち。この年代の若者のエネルギーがほしい」と、そうやない。若者の環境も自分の環境とつながっていること、子どもも大人もひとつながりであること

「出合い塾の役目は、イン

「活字にすた」出合い塾」 一部 三〇〇円 送料 一七〇円

78年7月より「出合い塾」が朝日・毎日・読売・神戸紙で取りあげられた。はじめ、月刊誌・ミニコミなどで扱われたものをすべて集めたものです。

「出合い塾」に関心をあ持ちの方はぜひ読んでいただきたい。

# 声 明

薬害・医療被害情報センターは、昨年4月、他四団体とともに、厚生省・国立予防衛生研究所・東京都・兵庫県および神戸市にたいし、「インフルエンザワクチン集団接種中止を求める申入れならびに公開質問状」（以下質問状という）を送り、現行の健康な児童・生徒（以下、児童等という）へのインフルエンザワクチン集団接種を見直すよう要求しました。その理由は、次の三点です。

1. インフルエンザワクチンは、ある程度有効とされていますが、無効の場合もあり、いまだ開発段階のワクチンです。しかし、個人防衛効果は低くても、集団接種すると流行を抑制するだろう、との理論があり、わが国では、流行による社会混乱を避けるねらいで児童等への集団接種がおこなわれております。全国の児童等を対象にした接種をおこなう上で、この理論にもとづいた方策の有効性が、当然、問題になります。それを実証するためには、個人防衛効果の調査とは内容の異なる、かなり大がかりな調査研究がなされなければなりません。

現実には、この種の調査研究がなされないまま、1962年、この方策が始められ、1976年には「義務接種」（予防接種法第7条）となり、年中行事として行政施策化されて現在に至っております。しかし、この間、インフルエンザの流行が、相も変わらずみられたことは、国民周知の事実です。専門家で構成された米国の調査団が、一昨年来日し、この日本独自の方策についてレポートをまとめているが、有効性を判断する成績の欠如を指摘し、米国では綿密な調査研究を抜きにしては、実施しがたいとむすんでおります。

2. WHO（世界保健機構）の呼吸器ウイルス専門家会議（1958年、ストックホルム）は、インフルエンザは、元来、普通の健康体の人が感染しても、若干の苦痛をとまなうことがあっても概して生命には別業のない病気である、との認識を前提にして、接種をすすめる人として高齢者・慢性心肺疾患・シン臓病・糖尿病などのハイリスク（高危険）群および社会防衛の視点から医師・医療従事者・警察官・交通通信事業従事者などの公共事業に働く人々をあげ、欧米諸国はすべてこの方策をとっています。流行をおさえる効果をねらって、健康な児童等に法律で義務づけて集団接種している国は、日本以外にありません。

3. 現行のHAワクチンは、比較的安全とされていますが、まれに、神経障害を中心とする副作用が報告されています。

当センターは、これらの点をふまえ、児童等への集団接種を続行する必要性、有効性および安全性を立証する科学的データを厚生省等に要求しましたが、同省は「民間団体に回答する必要はない」として参考文献リストを送って来ただけで、また兵庫県、神戸市は質問状中質問Bの患者数などの統計データについて回答してきただけでした。その後、神戸市が、インフルエンザの予防の第一は日常の健康管理にあり、インフルエンザワクチンは効かないこともある、また、脳炎・まひなどの副作用もおこりうる、等を解説した説明文書「インフルエンザの予防接種について」を全児童等に配付、今年度からは申込書と同時に配るようにしたことは、国民の知る権利から考えても高く評価できます。しかし、多くの自治体が、法律で決められているから、との理由だけで毎年、漫然とこの集団接種をつづけていることは、きわめて残念なことといわねばなりません。

上記のように、予防接種法第6条（一般的な臨時の予防接種）および同法第7条（一般的な臨時の予防接種を受ける義務）にもとづき、厚生省が指導し自治体が実施している現行の、健康な児童等へのインフルエンザワクチン集団接種は、科学的裏付けのないものものですし、いかなる児童等および親（保護者）も接種を強制されるべきではありません。

わたしたちは、次のことを国民のみなさん、とりわけ、小・中学校および保育園・幼稚園に通う子供さんをお持ちの父母、保護者の方々に訴えます。

現行のインフルエンザワクチンは、任意接種で被接種者の期待にそえるほど効果は十分ではありません。児童等に法律で義務づけて集団接種すると集団効果として、流行抑制がみられるのでは、との期待で実施されています。しかし、このやり方の有効性は実証されておられません。

少なくとも、接種の申込書が配られたら、その必要性・有効性・安全性について学校、自治体衛生部局、教育委員会等に説明を求め、その上で接種するか否かを納得の上で決めるようにしましょう。

1981年9月/2日

# イヌワシを見た!

あけがたまでふりつ

づいた雨で小代谷の空

がすみ、緑はいっど

ういきいきと見えた。



1200メートルをこす鉢伏山は、白い雲のながれに

つつまれそのピークを望むことはできない。集ま

った子供たちは15人。小林兄弟3人、井上、黒野

水間、久後、福田、中村の9人は顔見知りだ。山

道に入る途中まで1人の男の子が、私たちのあと

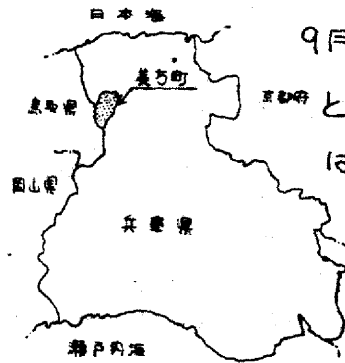
きつけて来た。どうやらきよようの山行きを家でゆるしてもらえなかったとみえる。行きたくても行けなかった子がほかにもいっぱいいるにちがいないとおもうとくやしくなる。登っているうちに青空がのどき、山みだがいくえにもかさなって見える。

ヌスキがゆれている。野の鳥を見、草木を調べ、動物のフンを小枝でこづきまわし、モグウの死ガイをみつけこれは尾の長さとものはえかたでヒミズであることがわかった。アケビも食べた。くはじめアケビを食べた」という子もいた。備(とんえ)村についてのは1時すぎ。ちょうどこの時イヌワシが現われた。この春に巣立、たばかりの若鳥と夫婦つまり3羽の家族である。翼を広げれば2メートルにもなるイヌワシの姿は、家に帰ってからの一番のみやげばなしになつたようだ。

## 《作文・手紙から》

田野晃子/小代小5年

9月20日にとんえ村にい、たとき、行くとちゅうの道のはしに黒いものがおちていました。それはモグウでした。何グラムあつたかわすれはけれど、と



## 小代っ子自然教室とは

矢田川を底にしたV(ブイ)字谷である美方町の自然は、見る景色・楽しむシャワーの場だけでなく、生活と不可分の関係にある。田畑には澗水をひき、生活廃水はやがて矢田川に集中される。

美方町の人びとにとって自然を学ぶことは生活を学ぶことにつながり、生活を守ることでもある。未来をきりひらいていく子供たちにその希望をたくして、小代っ子自然教室はスタートした。小代研究会のちびっ子メンバーである。

てもかるかったことをおぼえています。きもちわるいところもあつたけど、とても小さかったのがかわいそうなかみじもした。それがら少し行、たら動物のふんがおちていました。その中にはなにかの糞のたねがはいていました。そしてまたすこし行、たらまたおなじふんがおちていました。私はもうすこしでそのふんをふみどうになつたので思わず「ぎゃ。」と声をあげてしまった。(はるかしかつた)。それからまた歩いていたらあけびの木がありました。糞がたくさんなつていました。糞は3つも食べた。あとから水間のおじさんが小さいのをひとつくれました。とてもおいしかつた。

## 小代研究会の目的

昔、美方町を小代(おじろ)と呼んだ。小代(美方町)は、兵庫県西北部・中国山地の東端に位置し、人口約3千人の山村である。近年、村を去る人が絶えないなかで、なお村づくりに情熱をかたむける人も少なからずいる。その仲間が小代研究会を結成した。一方、山村でありながらもそれを特色として、他の地域の人びとと手を結びあつた道をさぐり、その実践を羨みたい。「こちら小代Hello! This is Ojira.」と呼ぶゆえんである。







### 小代研究会例会のおしらせ

日時 10月25日 日曜日 午前9時～12時  
 場所 美方町大谷、美方町役場 2階  
 視聴覚室  
 内容 <小代の子供たちをどう考えるか>  
 をテーマに、7月・9月の小代、子自然教室の例会の報告をスライド写真の上映と録音テープの発表をまじえておこないます。

■ 熊野さんのとびてくれたヒヨコ

(ほんとうはもっとほしかった!)



と美方村についてベムとうを食べてからあとんどていると、だれかが「外にでてこい」といった。何かと試してみると、イヌワシがすぐそこに見えた。それをすると見ていたら急に木の上から下におりた。少しするとイヌワシはとんでいってしまいました。するとまたかえってきました。こんどは若いイヌワシがいっしょにいました。そしてさっきの場所において、しばらくしたらまたとんでいきました。それを井上リーダーたちとどの山へのぼっていききました。そしてサシバというタカが食べられていました。いまどのはねを2まいもっています。

この日、鉢伏山にはのぼらなかつたけど、いろ

んなことがあってとてもおもしろかった。またこんなきかいがあるら行ってみたいです。

＊

田野雅子/小代小3年

わたしはまた冬の11月になってほしいなあと思っています。なぜかという、また自然教室にいきたいからです。まきの日曜日の自然教室はとてまたのしかつた。イヌワシということもめずらしい鳥まで見たからです。それに3匹もいたからです。マケビは1つ食べました。とてもあまかつたし、おいしかった。また食べてみたいなあと思っています。

鳥のはねは1本も、ていま

す。それをだいにだいに

も、ておきたい。もうすぐ冬です。



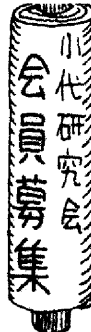
冬になって11月になるとまた自然教室ですね。わたしはこどもの自然教室もいこうと思いました。

＊

福田奈緒美さん・久後まつ代さん・中村末男君の3人からも手紙がとどいています。ありがとうございます。とてもすばらしいものですが紙面がたりません。

## 資金援助を

月例会運営のためにどのつと交通費・通信費などが2万円ほどかかります。今のところその手だてがありません。<八重信用金庫・村田支店 美方出張所 No.385-01 小代研究会代金 井上昌博 または色い聖の郵便機器口室神戸1-65 13に寄付をお願いいたします。>



あなたはこれからの小代の子供たちをどう考えますか。小代研究会は偶数月に、小代、子自然教室は奇数月にそれぞれ例会を開催します。参加された方はお気軽におこしください。

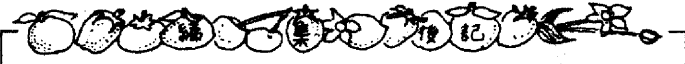
### わ3回小代、子自然教室開催のおしらせ

日時 11月1日 日曜日 8時20分(集合)  
 場所 もみじにもえる小代峡谷を歩きまわす。  
 集合 美方町秋岡バス停<和田寮、秋岡寮のバスにのり、7:54 8:17 まで待つ。>  
 解散 同じところで16時ごろ  
 内容 アナヤト今の原生林の美しさと、今なおつづいている自然破壊の現場を自分の目で確かめてみる。  
 もちもの 弁当、水筒、雨具、筆記用具、タオル、ナイフ、おはし、図鑑、双眼鏡、余分にセーター1着

雨天の場合 雨がふりつづくようであれば、美方町役場2階の視聴覚室でワラどうりを作ります。<集合は10時、上(ゆめ)からくる人は和田寮のバスに、下(しも)からくる人は和田寮のバスにのり、8:32のバスにのり、8:50に集合。解散は15時です。>

来月号ごがならず、紹介しま

連絡先 美方町立井上昌博 (南緯 2678 電話 2279 077409)



わ1号はいかがだったでしょうか。次号は小代の谷に初雪がふるころ発行の予定です。(井上)